

学校名	杉並区立三谷小学校
所在地	杉並区上井草3-14-12
電話番号	03-3390-0164

三谷コミュニティスクール

平成18年1月31日

三谷小学校運営協議会会長

中竹 竜二

1. 活動の背景

- (1) 未知の世界
 - コミュニティスクールの実施は、誰もが(行政も、学校も、地域も)はじめての試みで、何をやったらよいかわからない状態であった。
- (2) 地域の潜在力
 - 何かができるのではないかという期待感。
 - 「さんや祭(PTA祭)」「三谷サタデー」の実績。PTA、三谷パドレス(おやじの会)、三谷小学校同窓会、三谷小学校PTA野球部、
 - 近隣に都立農芸高校、都立杉並工業高校、早稲田大学ラグビー蹴球部があり交流が活発。上井草スポーツセンターがあり、スポーツ活動が盛ん。
- (3) 学校の潜在力
 - 大竹校長のリーダーシップ
 - 個性豊かな教員
- (4) 学校の概要
- 住所: 東京都杉並区上井草3-14-12
 - 学級数: 12
 - 児童数: 392名
 - 教員数: 20名(校長・教頭各1名、担任12名、専科、音楽、図工 少人数算数、養護、講師各1名)

2. 活動の基本的な考え方

- (1) 活動テーマ
 - 自信と誇り 「個」は自信を、「組織」は誇りを
- (2) 基本姿勢
 - 形式にこだわらず、自由に考え、発言する。
 - 走りながら、考える、即、実行する。
 - 無理せず、できることから、こつこつと。
 - モデル校としての責任。成功活動だけでなく、失敗も成果も発信。
- (3) 協議会の位置づけ・役割
 - 多様な視点から見た諮問機関
 - 学校現場への支援実行部隊
 - 学校と地域のネットワークカー
- (4) 基本目標
 - 学校の現状理解
 - これまでの地域の活動を整理
 - 地域の人材を活用するための仕組みづくり

[3. 活動の流れ]

- (1) 協議会の頻度と時間帯
 - 頻度: 月一回
 - 時間: 原則、毎月第1火曜日19:00～21:00。毎回、時間オーバー。
 - その他: 毎回、終了後、雑談(懇親会)あり。
- (2) 参加メンバー
 - 委員: 12名(学校長1名、校長推薦委員5名、学識経験者3名、公募委員3名)
 - 行政: 区教育委員会(2名)
 - 教員: 任意参加
 - 協力者: その都度、声をかける。近隣の学校関係者、区の補助教員、大学生、地域住民、PTA関係者など
- (3) 協議の形式と流れ
 - 原則、議題に沿った議事進行
 - 参加者が同じ立場で、自由発言可能な議事進行
 - 部会活動を中心とした役割り分担制
 - 必要に応じて、ワークショップ形式(例: 教員からの現況報告)

4. 具体的な活動内容

- (1) あいさつ部会
 - 目的: 子どもが安全に安心して過ごすことができる地域作り
 - 活動内容①: 保護者対象「あいさつアンケート」の実施
 - 活動内容②: あいさつポスターの作成と掲示

- (2) 図書部会
 - 目的: 地域の人も活用できる図書室
 - 活動内容①: 在庫図書の整理
 - 活動内容②: 三谷祭での本の寄贈や寄付の依頼
 - 活動内容③: 図書館改革準備室の設立

- (3) 情報発信部会
 - 目的: より多くの人に三谷コミュニティスクールを知ってもらう
 - 活動内容①: 独自ホームページの立ち上げ(<http://www.sanya-cs.jp>)
 - 活動内容②: 関連団体の各種会合での告知

- (4) イベント部会
 - 目的: 三谷コミュニティスクールの情報発信の場づくり
 - 活動内容①: 平成18年3月11日(土)、成果発表会

5. 課題と今後の方向性

- (1) 自己評価
 - 本来の協議会の役割(学校経営への参画など)をまだ果たしていないので、やっと、スタート地点に立ったところ。
 - 現時点では、成功の範囲。成功の要因は、1つ、教員の協力。1つ、委員の自覚と責任感。1つ、未知への挑戦という開き直り。1つ、形式にこだわらない運営。
- (2) ちょっとした工夫
 - 可能な限り活動を映像(デジタルビデオ)で残す
 - 部会方式による分担作業
 - 学校を理解しようという姿勢
 - オープンマインド
- (3) 課題と対策
 - 人材確保(具体的にどんな人材がほしいのか、必要人材の明確化)
 - 資金確保(HP管理費、図書館改革費、イベント費、あいさつポスター経費)
 - 学校現場の現状理解(先生たちの指導活動、栄養士・給食関係者、事務・用務関係者の現状の理解)
 - 子どもたちの参画(各部会への子どもたちの参画)
 - 学校と協議会と地域の関係性(役割り分担の明確化)
 - 教員の立場(役割り分担の明確化)

三谷コミュニティ・スクールホームページ

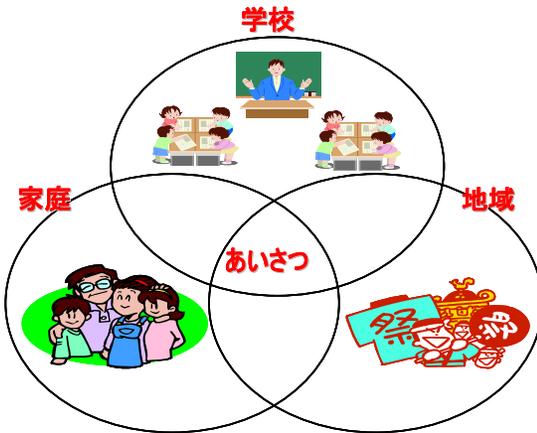
The screenshot displays the homepage of Sanya Community School. The browser address bar shows <http://www.sanya-cs.jp/>. The page features a search bar at the top right and a navigation menu on the left. The main content area is divided into several sections:

- ログイン (Login):** Includes fields for ユーザ名 (Username) and パスワード (Password), a ログイン (Login) button, and links for パスワード紛失 (Forgot password) and 新規登録 (New registration).
- ようこそ (Welcome):** A central message from the 杉並区立三谷小学校・学校運営協議会のサイト (Sanyashiromachi Elementary School Community School Association website). It includes a welcome message, a link to local school information, and a notice about the school's opening in April 2005.
- お知らせ (Notice):** A notice titled "3学期のスタートです。" (Start of the 3rd term) dated 10/27/06, welcoming the start of the school year.
- 訪問して下さった方 (Visitors):** A digital counter showing the number of visitors for the day (6), yesterday (28), and total (3515).
- WEB !:** A section for site updates, including a message from 10-27 7:46 and a message from 07.
- Footer:** Contains the name of the administrator, Ichiro Kudo, and the copyright notice BluesBB ©Sting_Band.

あいさつ部会

あいさつプロジェクト

<http://www.sanya-cs.jp>



あいさつで「楽しい学校」
あいさつで「明るい家庭」
あいさつで「安全・安心なまちづくり」


 杉並区立三谷小学校
三谷コミュニティ・スクール

あいさつポスター

あいさつアンケート

三谷小学校 保護者の皆様

平成 17 年 xx 月 xx 日

三谷小学校 コミュニティスクール協議会

地域運営学校(コミュニティスクール)協議会からアンケートのお願い

梅雨の折から、皆様にはますますご健勝の事と存じます。

さて、既にご存じかとは思いますが、三谷小学校では今年度より「地域運営学校」(コミュニティスクール)が開設され、保護者の方のみならず地域の方にも参画していただき、地域に支えられる学校づくりの実現を目指す事となりました。私共コミュニティスクール協議会はその橋渡し役として、活動を行っていきます。協議会では今年の重点目標として「あいさつ」を掲げ、家庭、学校、地域の三位一体で取り組むことにより何かと稀薄になりがちな人のつながりを強め、ひいては地域全体の活性化、防犯に繋がればと考えます。そこでご家庭での「あいさつ」に関する以下のアンケートにお答えいただき、私共の取り組みの参考にさせていただきますと思います。

大変御手数ではありますが、何卒ご協力頂けますよう、お願い申し上げます。

き り と り せ ん

(*)xx月xx日までに担任の先生へお渡し下さい

「あいさつ」に関するアンケート(平成17年xx月実施) 該当項目を○で囲む、或いは記入してください。

1. 親と子供の間で

(1) 朝: お子様起床のときに「おはよう」等の挨拶を

〈しない〉 〈ほとんどしない〉 〈する〉 → それほどから? 〈子供〉 〈親〉 〈さまざま〉
学校に行くとき「行ってらっしゃい、行ってきます」等の挨拶を

〈しない〉 〈ほとんどしない〉 〈する〉 → それほどから? 〈子供〉 〈親〉 〈さまざま〉

(2) 昼間: お子様学校から帰ってきたとき「お帰りなさい、たいま」等の挨拶を

〈しない〉 〈ほとんどしない〉 〈する〉 → それほどから? 〈子供〉 〈親〉 〈さまざま〉

(3) 夜: お子様がおやすみになると「おやすみなさい」等の挨拶を

〈しない〉 〈ほとんどしない〉 〈する〉 → それほどから? 〈子供〉 〈親〉 〈さまざま〉

2. 子供同士(兄弟姉妹、友達同士)で

(1) 「おはよう」、「ありがとう」、「ごめんない」、「こんにちは」、「さようなら」等、日常生活での挨拶を

〈しているのを見たことがない〉 〈あまりしない〉 〈だいたいしている〉 〈ほぼしている〉

その他お気づきの点をお書き下さい: _____

3. 地域で

(1) 知り合いのお子様を見かけたとき「こんにちは」等の挨拶を

〈しない〉 〈ほとんどしない〉 〈挨拶されればする〉 〈する〉

(2) 買い物に行ったとき、レジの人に「ありがとう」等の挨拶を

〈しない〉 〈ほとんどしない〉 〈「どうも」くらいは言う〉 〈子供には言わせる〉 〈する〉